

NITEを共創のパートナーに

－ NICEプログラム・チームNITEのご紹介－
（「協創」から「共創」へ）

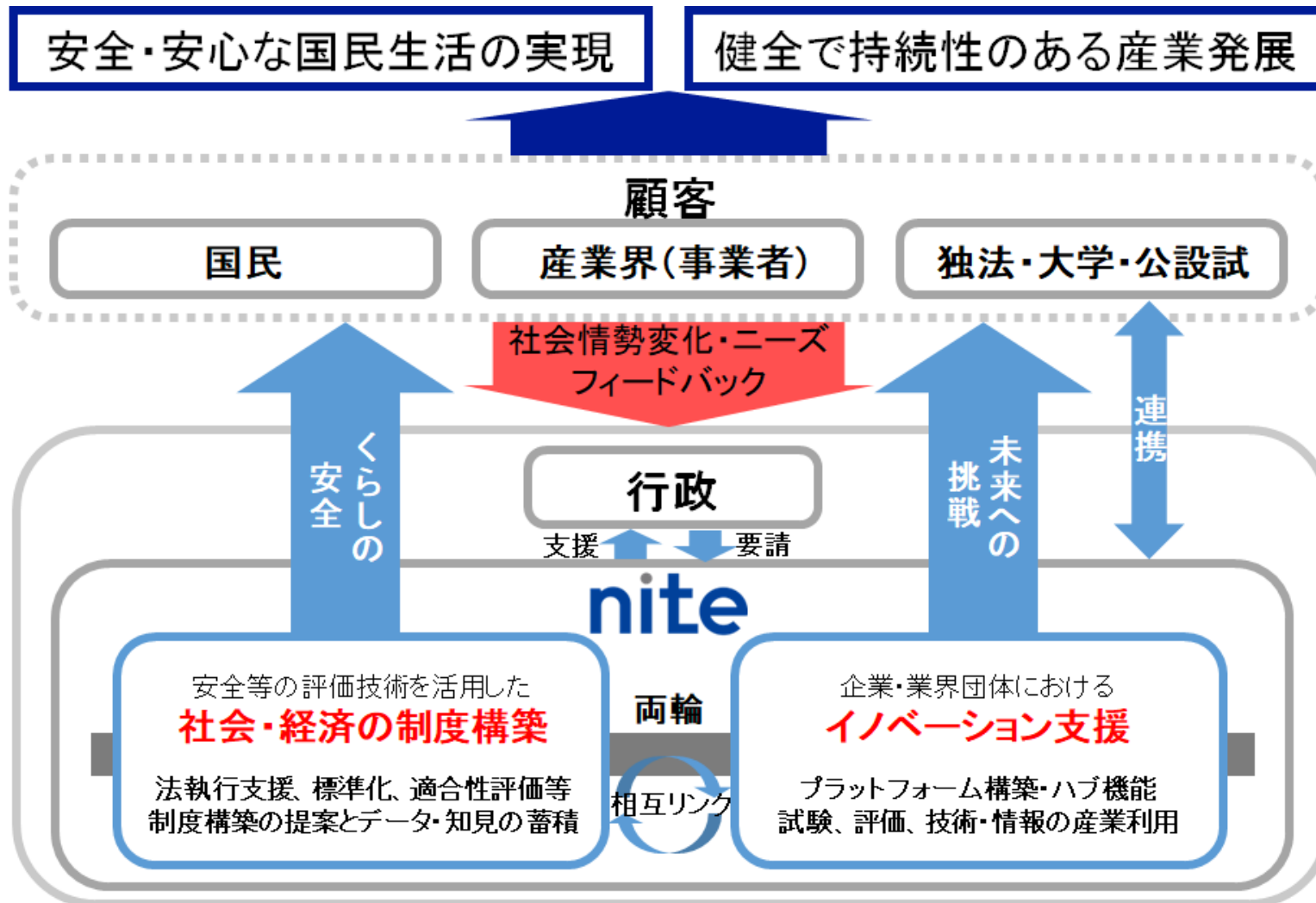
令和4年9月

（独）製品評価技術基盤機構（NITE）
企画管理部 イノベーション支援課

NITEのビジネスモデル



国民と産業界(事業者)等に対して、**社会・経済の制度構築**(法執行支援)と**イノベーション支援**の両方を多角的に実施することで、くらしの安全と未来への挑戦という価値を提供し、安全・安心な国民生活の実現と健全で持続可能性のある産業発展を図る。



NITE は、機構法第 11 条に定める業務を行うにあたり、

- 製品安全分野
- 化学物質管理分野
- バイオテクノロジー分野
- 適合性認定分野
- 国際評価技術分野

の 5 つの分野において、経済産業省など関係省庁と密接な連携のもと、各種法令や政策における技術的な評価や審査などを実施し、わが国の産業を支えています。また、それらの業務を通じて NITE に蓄積された知見やデータなどを広く産業界や国民の皆様に提供するとともに、諸外国との連携強化や国際的なルールづくりなどに取り組み、イノベーションの促進や世界レベルでの安全な社会の実現に貢献しています。

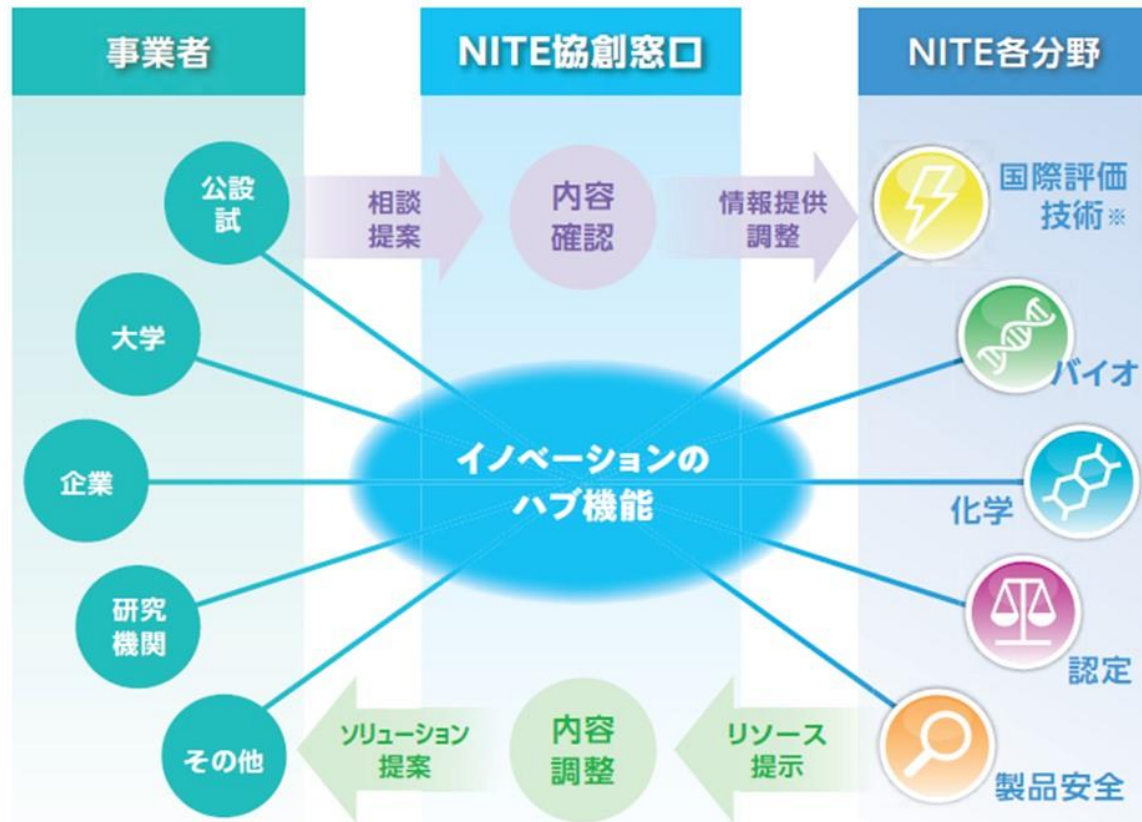
NITE は、機構法第 3 条の目的を達成するため、以下の業務を行います。(機構法第 11 条)

- (1) 工業製品その他の物資に関する技術上の評価
 - (2) 工業製品その他の物資に関する試験、分析、検査その他これらに類する事業を行う者の技術的能力その他の当該事業の適正な実施に必要な能力に関する評価
 - (3) 工業製品その他の物資の品質に関する技術上の情報の収集、評価、整理及び提供
 - (4) (1)の評価の技術に関する調査及び研究
 - (5) (1)～(4)の業務に附帯する業務
- その他、各種法令等が定める調査、審査、立入検査等



NITEの「協創」 (NICEプログラム)

- 【目的】 企業による「価値」ある製品・サービス(イノベーション)の創出・提供に向け、研究開発上の課題解決や新技術の社会実装について、事業者・NITEとの協創により解決を目指す。
- 【仕組み】 事業者からの相談・提案を受け付け、事業者が抱える課題に対し、NITE各分野との連携・調整のもと、NITEがソリューションを提供する。



※蓄電池等

【データ】
プラットフォームを通じたデータ活用支援

(例)製品事故予測システム(SAFE)



NITEの事故情報から、新規に企画・開発している製品のリスクを分析できるアセスメント・ツール

【モノ】
試験設備等の外部利用

(例)VOC大形チャンバー



製品から放散される化学物質放散量の測定

【スキル】 保有特許、技術の活用
試験所等への技術提供、技術移転

【ヒト】 専門人材の派遣（講師派遣）
企業の社内セミナーや展示会・学会での講演

【支援事例はこちら】

<https://www.nite.go.jp/nite/innovation/pastsuccesses.html>



**NITEの 「協創」から「共創」へ
積極的なイノベーション支援活動**

～ チームNITEの設置 ～

2021年8月始動

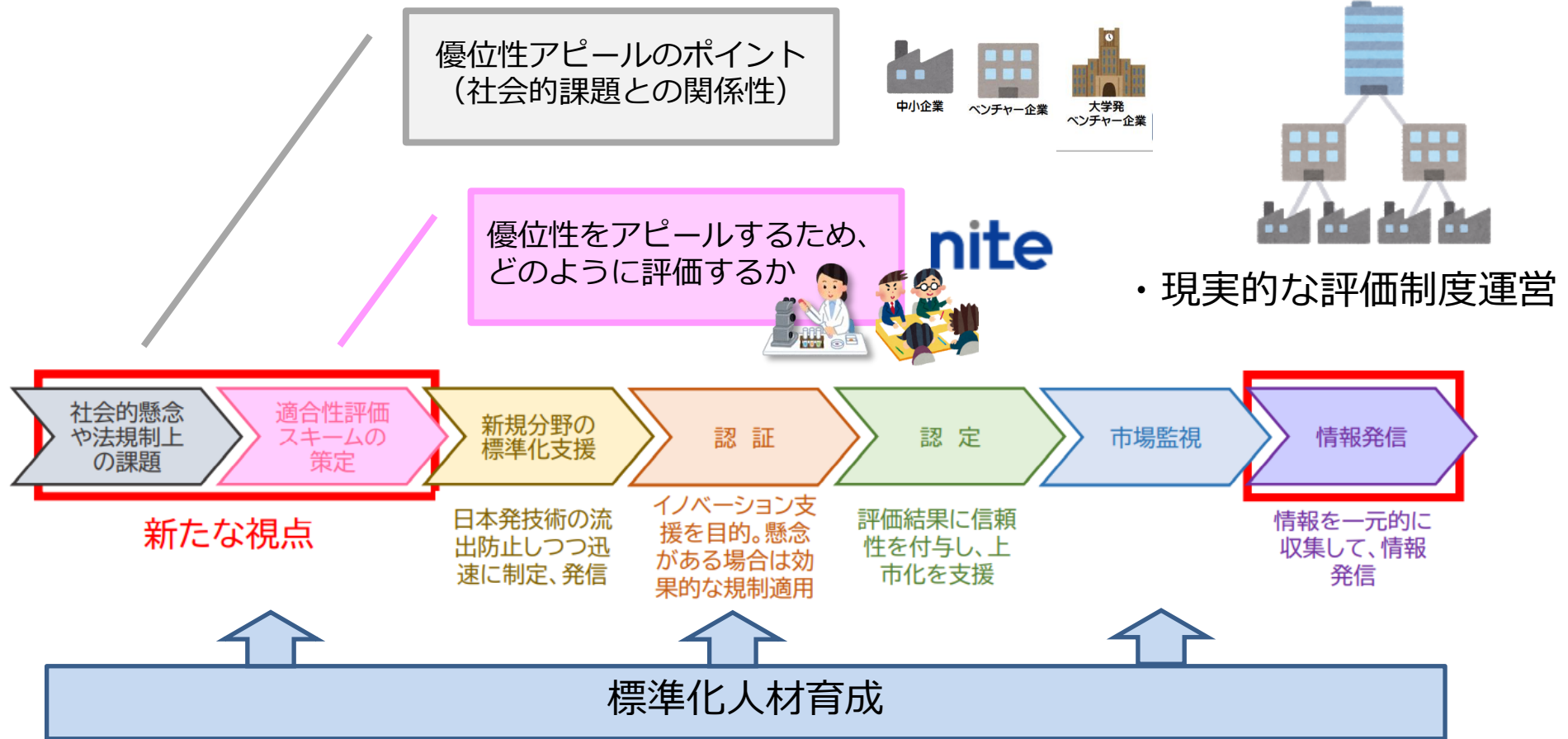
有望技術等が社会や市場で適切に評価される仕組みである標準化、認証、認定制度等（以下、「製品評価制度」）を構築することを通じて、**有望技術等の実用化や市場化に貢献**する。

イノベーション協創プログラム(NICE)の枠組を活用・補強しつつ、各センターのノウハウを「チームNITE」として持ち寄り、中小企業・ベンチャー企業・大学などの萌芽期にある技術シーズを探索。評価手法の確立・規格化・国際規格化などの技術支援を行い、実用化を加速。



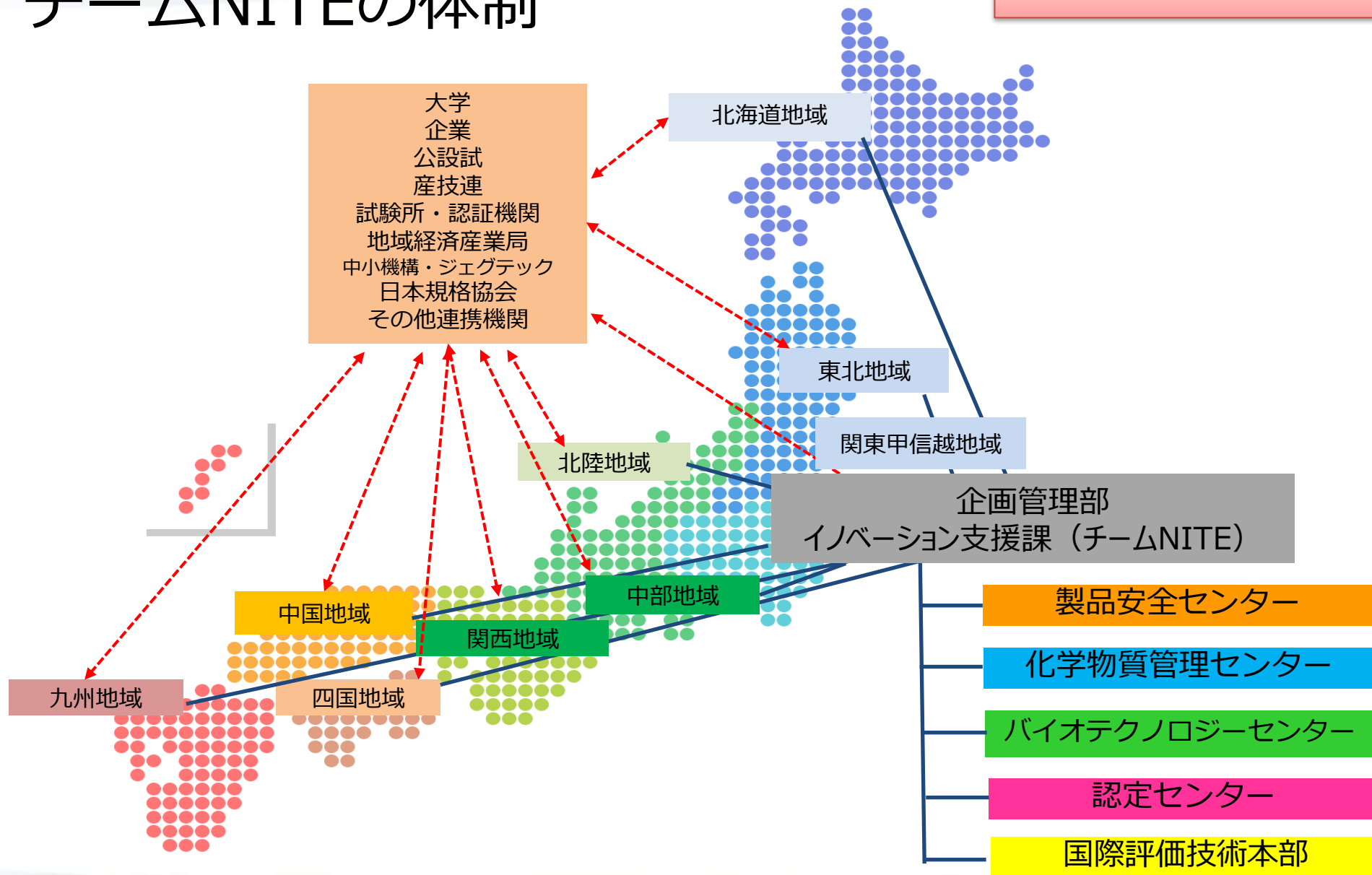
～ チームNITEの設置 ～

有望技術等が社会や市場で適切に評価される仕組みである標準化、認証、認定制度等（以下、「製品評価制度」）を構築することを通じて、**有望技術等の実用化や市場化に貢献**する。



チームNITEの体制

2021年8月始動



連絡先

企画管理部 イノベーション支援課
(チームNITE事務局)

teamnite@nite.go.jp

以上です
ご拝読(ご清聴)ありがとうございます